広報
NISHIWAGA PUBLIC RELATIONS

にしわが

No.86
1月号
2013
（平成25年）

「広報にしわが」は西和賀町のホームページでも公開しています。
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/
西和賀町　検索

今月の内容

新年のあいさつ……2～3P
新春懇談会……4～6P
消防出初式ほか……7P
各種表彰……11P
スポーツ結果ほか……12P
地域レーダー……13P
門松・防犯灯寄贈ほか……14P
みんなのページ……15P
お知らせ……16P～17P

良い年でありますように

１月１日午前０時。良き年の始まりになるようお祈りする子ども達。東日本大震災発生からまもなく２年になろうとしています。被災地の復興が進みますように。（神明神社・新町）

笑顔の『西和賀ブランド』

西和賀町長
細　井　洋　行

新年を迎えられました町民皆様に、謹んで新春のお喜びを申しあげます。例年を大きく上回る降雪量に悩まされながらも、日々お元気でお過ごしのことと思います。これからさらに本格的な降雪の時期を迎えます。事故等に充分お気をつけ、この冬を乗り切ってください。

昨年は、老朽化した沢内病院の建て替えに向け、詳細設計と土地造成に着手しました。今年は、具体的にその姿を見せてくることになります。西和賀という地域性を背景に、地元の民間医院や県立病院などとの連携を進め、地域医療の確保を図ります。また、災害時における町の医療拠点としての役割も担うことになります。完成予定は、平成26年8月です。

町では、地域財産としての食財と食文化を産業化し、所得増をはかり、安心して子供を育て、生活を営むことのできる地域づくりをめざし、6次産業化の推進に着手しました。1次産業（生産）2次産業（加工）3次産業（販売）を一体的に取り組むことで、生産した農林水産物（野菜や山菜等）の付加価値を高める、新たな事業の創出を目的としています。㈱西和賀産業公社が流通のお手伝いをしていますが、一昨年まで年間500本程度の販売数であった大根の一本漬けは、今年8800本の実績を確保しました。今後、課題はたくさん出てくると思いますが、みんなでがんばって「西和賀ブランド」を確立したいものです。

町内には、自宅の裏山の杉林の間伐跡地に、春の雪解けから降雪の直前まで、一人で18種類の山菜を生産し、元気に暮らしている80歳になる方がいます。6次産業推進センターでは、このノウハウを取得し町内に普及したいと考えています。一人でも多くチャレンジする人が出てきてほしいと願っています。

小繋沢地区では、昨年12月、農林水産業の振興を中心に、農山村に住む人々の創意と工夫によって活力とうるおいにあふれた「むらづくり」に取り組んでいるということで『いわて農林水産振興協議会会長表彰』を受賞されました。集落で、先進的に6次産業に取り組んで成果を挙げています。受賞報告に来ていただきましたが「80歳になる、おらほのばっちゃんたちが、買いさきてけるお客さんさ『いらっしゃいませ』というようになった」と驚いていました。この集落にあふれる笑顔をこそ、**〝西和賀町のほこり〟**にしたいのです。皆様、今年1年よろしく御願いします。

感　謝

1月4日、役場仕事初め式で職員に訓示する細井町長（右）

年　頭　所　感

西和賀町議会議長
佐々木　正　裕

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。年頭にあたってのご挨拶を申し上げます。２０１３年の新年は、例年に無い大雪という事で、町民の皆様には毎日の除雪作業大変ご苦労様でございます。

さて、今年は巳年ということでありますが、巳年は過去のデータから見ますと変革の年が多いといわれています。今年もその様な予感が感じ取れるこの頃であるように思います。

まず、国内を見た時に、昨年の暮れの選挙で政権交代をいたしました。民主党から自民党へと替わった訳ですが、民主党の３年３か月は何を教訓として我々国民に与えてくれたのかはこれからのことと考えますが、まず第一に昨年のこの衆議院選で、この西和賀から国会議員が誕生したのは特筆される一大ニュースと考えます。過去には無かったことであり、今後においてもそう安々と生まれるものでないことも事実であろうと考えます。ですから今誕生した藤原崇（たかし）衆議院議員（湯本出身）を大切に育てて長続きできる国会議員に、そしてこの西和賀だけでなく、岩手県や日本の為に大いにご活躍できる様にみなさんで盛り上げて行く事こそ大事と考えます。

次に昨年西和賀町議会は、早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査２０１２において、全国99位にランキングされました。これは我々議会として誇りに思って良いと考えている所であります。全国の県市区町村議会１７００あまりの中から回答のあった１３１７議会の中での99位で、全回答議会の上位７％に入ったという事であり西和賀町議会もそれなりに改革に取り組んできた結果が評価されたものと喜んでいるところであります。

こうした昨年の実績をふまえて、今年の議会活動も町民の皆様に見える形で町の将来を明るい方向に見い出していかなければと考えています。それは、農業振興と観光産業の発展であります。基幹産業の農業を安定した形で後継者や生産者が安心できる所得確保に向けた取り組みを考えるべきです。具体的には方法なり、作目を絞りこむ必要に迫られていると考えます。町でも６次産業の推進に力を入れていますが、今一つ見えてこない所もあります。しかし、この６次産業にてこ入れをして真に西和賀の基幹産業である農業を生かさなければと考えます。

今一つは観光の問題ですが、無い物を捜すのではなく、西和賀の文化、食産業、自然とマッチングさせ、ある物を最大限に利活用した誘客を展開すべきと考えます。それが町で進めようとする６次産業振興の原動力とならなければなりません。

多くの課題がありますが、町民の皆様と共に知恵を出し合いながら一丸となってこの西和賀町を維持、発展する様築き上げて行く事だと信じております。今後とも議会、議会議員に対しまして激励なり叱咤を宜しくお願い申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

広報にしわが 新春懇談会

テーマ

「西和賀の明日（あす）」

昨年11月に行なわれた「にしわが町民劇場」は、町の課題や今後を考えさせられる内容で多くの町民のみなさんに観劇いただき、関心の高さがうかがえました。そこで今回、新春懇談会として「西和賀町の明日」をテーマに、細井町長と町民劇場に出演した４人が町民劇に参加して感じたことやこれから取り組むべきことなどを懇談しました。その様子をお伝えします。（懇談会／１月９日湯田庁舎会議室）

＜参加者＞（役名・勤務先等・地区）
高　橋　　渉さん
（タカオ役・やすらぎ会・前郷）
小　林　栄　子さん
（サチ役・北上市役所・湯本）
高　橋　裕　之さん
（カズ役・農業・太田）
佐々木　竜　也さん
（タツノブ役・西和賀産業公社・川舟）
細　井　洋　行　西和賀町長
＜司会＞
広報編集委員
照　井　重　光さん（長瀬野）

司会　初めに町民劇場に参加して何を感じ、何が変わったか教えてください。

高橋渉　町民演劇を通じてたくさんの人と知り合い、特にも若い人たちのパワーや一体感を感じた。町にはまだ若いパワーがみなぎっていることを実感できた。客席とも一体になり、郷土愛、西和賀を愛していると言う気持ちが役者も客席の皆さんも同じだと思った。

かなりハードな稽古スケジュールで、最初は無理と思ったが、後がないというか、覚悟を決めてやればなんでもできると実感した。

大切な仲間が増えたことが大きく変わったところ。

小林　3年もの長い期間をかけて作られた町民劇なので、携った多くの人の思いを心に刻み演じた。

高橋渉さん

サチの役は町外から嫁いできた人で自分と重なる部分がすごくあった。「西和賀の人はやさしいけど本音でものを語らない」「やさしい人が多いと思う」など自分が嫁いで来てからずっと思っていたことだったので、最後はサチなのか自分なのか分からない状態だった。

見に来た北上の友人から「西和賀には、やる気のある若い人がいてうらやましい」と言われて、西和賀のこれからを期待しているんだと感じた。

高橋裕　実行委員会から参加しているが、こんなに長い間構想を練っていたと初めて知り、協力したかったので役者のオファーも二つ返事で承諾した。稽古日程を見たときは不安に思ったが、稽古でみんなとワイワイやってるのがとても楽しかった。家族にすごく負担をかけてしまったが、一生懸命やり大成功に終えれたことが一番うれしい。

佐々木竜也さん

町主催の会議に出る機会があり、町を考える機会は今までもあったが、演劇を通してこれまでを振り返ったり、これからを見た時に自分が町づくりのために何ができるのかあらためて考えることができた。

佐々木　面識の無い人と仲良くなれたことが嬉しかったし、職場でも元気よく声を出せるようになった。

もっとたくさんの人と仲良くなりたいという思いが強くなった。職場に産業公社を選んだ理由は、町のために何かしたい、色々な人とふれあい町を宣伝したいから。その気持ちはタツノブにもあり親近感が湧き、その気持ちがますます強くなった。

細井洋行町長

演劇のほかにも町民とコミュニケーションを取れる手段がもっとあればいいと思う。

司会　町長からなぜ町民劇場に取り組もうと思ったのか、また、実際に完成した演劇を見た率直な感想をお聞かせください。

町長　一番感動したのは、苦しい思いを乗り越えてステージに上がった人たち、影でサポートしてくれたスタッフ、会場に足を運んでくれた人がその感動を共有できたということ。そして、テーマ自体が今後町をどうするのかという身近な問題であったことが気持ちを沸きたたせてくれたのだと思う。

町民劇場をやろうと思った

きっかけは、銀河ホールが総務大臣表彰を受賞したこと。小さい町村であれだけのホールを持ち有効に活用していることが評価されたわけだが、実際にどれだけの町民に愛されて活用されているのか、もっと方法を変えて活用していくべきと考えた。

合併したそれぞれの町村民がもっと出合い、互いが理解し一体感のある町づくりの一助にできないかと考えた。個別に出会いを求めてもうまく機能しないので、演劇という、多くのスタッフが必要とされる手法で小さな町なのに出会っていなかった数多くの人に集まってもらう。そこで、ひとつの新たなドラマができないかという大きな期待があった。日常生活が限られた地域や人の中でしか営まれていないと、物の考え方も小さいものにしかならない。

今回期待したのは自分の殻から脱皮していく若者がステージに上がり、新たな人と出会い、その出会いで新たな価値観を見い出すと意外な言葉が返ってくる、そうすることによって自分の考え方も変わり人生観を考える。これが私の一番期待したことで、そこにたどりつけたと思う。

司会　地域を持続させ活性化を図っていくために町づくりを続けていくには様々な課題、難問が山積しています。そこで、みなさんにはこれから何をすべきか、そして何から取り組むべきかをお聞かせ下さい。

高橋渉　まずは自分の生活に関心を持つこと。自分達が住みよくなければ他から人はこない。関心を持てば、町の予算を見たり、活用策なども出てきて町づくりに繋がっていく。

そして、町を元気にすることが必要。みんなそうであるが、人が一番笑顔になるのは子どもを見たときだと思う。子どもは年々少なくなっているが、町民全体で子どもの成長を見守っていく町になればいいと思う。演劇の中で「メイド・イン西和賀」というせりふがあるが、それは物産ばかりではなく「メイド・イン西和賀」の人をつくることも含まれている。

小林栄子さん

あと、働く場は当然必要。働く場があればすぐにでも町に戻ってきたいと言っている友人もいるので、それは何とかしたいという思いはある。

小林　町をもっと他の市町村にPRしていくことが必要。西和賀のイメージは冬の期間が長い、除雪が大変、働くところがないなどマイナスのイメージが多い気がする。でも実際住んでみて、除雪がしっかりしているので通行も全然大変ではないと思ってる。

また、長い冬の期間に楽しいことがたくさんあればいい。雪合戦や雪あかりだけでなく何か集客イベントがあればと思う。例えば、北上市では「街コン」などをやっているが、町内でも昨年の雪あかりに併せて町商工会青年部が出会いの場づくりを企画したように、新しい企画を活用して西和賀は本当にいいところだとPRできればといつも思っている。

高橋裕之さん

高橋裕　行政が一番難儀していると思うが、何をすべきの前にこれから町がどうなっていくのか意識を持つべきだと思う。たくさん暗い話題が出てくるが、問題意識を持ち、これから自分にできること、どうすれば良くなっていくのか考えながらいけば少しずつでも前進するはず。

佐々木　高校3年生頃から、何をすべきかより、人を呼び込みたいという気持ちが出てきた。例えば、廃校になった学校を「さそう館」のような形態で、夏場のスポーツ合宿所にして練習で疲れたら温泉に入るなど、若者も気軽に来る方法を考えていた。

まずは西和賀を気に入ってもらうためにはどうすればいいのか、それは楽しんでもらい印象に残ればまた来てもらえるのではないかと思う。

司会　これまでみなさんの話を聞いての感想をお聞かせ下さい。

町長　地域の事をなんとかしようと思うのは当然だが、いきなり解決しようとすると大変なこと。町をどうするかという前に、自分が出会った人やこれから出会う人が何を考えてどう向き合い、方向づけしていきたいかお互いに話し合うことが最優先だと思う。一番人が感動するのは人と人との出会いで、みんな何を考えているかをくみとることから「町づくり」が始まると思う。

司会　照井重光さん

そして、一番大事なのは、話にもあった「メイド・イン西和賀」という人であるということ。郷土愛が豊かな人は、町をどうしたいか、また来てもらうためにはどうすればいいかと考える。それは人が「メイド・イン西和賀」であるということから出てくるのだと思う。人が何を思い、そのことを自分も吸収してあげたいと思う気持ちがこれからの大きなテーマになっていくと思う。

司会　最後にみなさんが描く西和賀町の将来像をお聞かせください。

高橋渉　理想は、休みに親子が紅葉を見にきたり、大自然で子どもを遊ばせるなど人が集まる西和賀町になればいいと思う。

そして、農業はしっかり守っていきたい。田んぼがない西和賀は想像できないし、田んぼがあり山がある風景がそのまま残っていて欲しい。

あと、もっと交通の便がよくなれば、盛岡や北上で暮らしている人も西和賀に戻ってきてくれると思う。

厳しい冬に耐え、粘り強い人間が住む西和賀町だが、それを子ども達も受け継ぎ粘り強さを持って西和賀に住み続ける町であってほしい。

小林　西和賀は高齢者が多いがみんなすごく元気だという印象がある。今後は若い人たちも高齢者のようにみんな元気に明るく健康で楽しく過ごせる町というのが私の描く大きな将来像。

サチのせりふの中で「若い人たちが町を出て行っても、やがては帰ってきたくなるような本当に魅力のある町」というのがある。そのためにはまず何かしようという気持ちを共有する事が大切だと思う。

高橋裕　これから人口も減り農業をやる人も少なくなると思うが、なんとか農業は守っていきたい。昔から沢内は農業、湯田は観光でやってきたが、それらを一緒にして何か新しいものを生み出すことはできないか。例えば、農業体験ツアーで郷土料理であったり、温泉であったり色々な「メイド・イン西和賀」を場面で出すことができ、それらを仕事にできたらいいのではないか。

佐々木　私はここの自然が大好きなのでそれだけはなくしたくない。便利になるという理由で木を切り倒すことの無いような将来にしたい。

あと、観光をもっと宣伝するために、先ほども話したが廃校になった学校の活用策を考え、私達みたいな若者が運営したり、西和賀のいいところを祖父母などから聞きながら、知識を得て西和賀のことなら任せろという人がたくさんいる町、町を訪れたお客さんがなんてすばらしい町なんだろう、また来て見たいという町にしたい。

司会　最後に町長からみなさんがお話した将来像を聞いたうえで、あらためて町政に対する決意をお話ください。

町長　4人の話を聞くとポイントは一つ。この地域に求めるものは産業でいうと農業と観光で、これは地域が持っている財産であり、その財産に恵まれ嬉しいという人の輝き、明るく元気な人がたくさんいることが大切。どんなに自然があり、産業があってもそこに住む人に笑顔があふれてないと魅力に繋がらず、他の人に伝わらないと思う。自分達のふるさとに喜びを感じている笑顔が、他所から来た人に対して大きな魅力になると思うし、どうやってそれを増やしていくのかが、大きな課題になってくる。

子どもから高齢者までみんな違う生き方だが、住んでいる人それぞれが生きがいを持てる町をつくることにつきていく。

演劇のテーマであった、町を今後どうするか、みなさんが込めた思いを実現させることが行政の責任。そして、みんなが課題を話し合い、自分達も取り組むし、行政や関係する団体と一体になり、取り組む雰囲気になることがこの町の力に成ると思うので、それぞれが力を発揮し全体の力にしていければと思う。

今回、町民劇で色々な人と出会ったそのパワーがますます発展するようにもっていくのが、私の役目だと思っている。

懇談会のようす

司会　西和賀にしかない西和賀ブランド「メイド・イン西和賀」を現実化して、西和賀町の更なる発展と参加いただいたみなさんの今後ますますのご活躍をご期待して懇談会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

町民の安全と安心を守る 決意新たに 消防出初式

ラッパ隊（上）の合図で部隊が集合

1月6日、役場沢内庁舎駐車場で平成25年西和賀町消防出初式が行われました。式には、消防団、婦人消防協力隊など285人のほか、来賓などおよそ60人が参加しました。

式典では、消防殉職者に対する黙祷に続き、10年間無火災表彰として4分団3部（鍵沢）に町長から表彰状が授与されたほか、第41回北上地区支部消防操法競技会小型ポンプ操法の部で優勝した6分団3部（貝沢）に糯田勉団長（川尻）より表彰状が贈られました。

統監の細井町長は式辞で「甚大な被害をもたらした東日本大震災から2年近くになるが、町は県内はもとより隣県の横手市とも災害時相互援助協定を締結した。町の総合防災、各地域の安全対策、個々の防災意識を含め全住民が一体となった防災力の向上は待ったなし。今後さらに現場訓練、地域内活動、あるいは地域市町村におよぶ広域的な対応も含め全力を上げて取り組んでいく。今日ここに集うみなさんにも地域の安全確保のため、さらなる期待に応えて欲しい」と激励しました。

また、糯田団長は「一昨年の東日本大震災の発生、昨年は西日本を中心に豪雨による大きな被害もでている。まさにいつでもどこでもあらゆる災害が起こる可能性がある。こうした中で地域の安全、安心を確保するために我々消防団にかせられた使命もますます重要度を増している。今後とも町民の生命、身体、財産を守るために尽力をお願いしたい」と訓示しました。

観閲を受ける婦人消防協力隊

式典後には観閲と分列行進が行われました。団員は規律正しく整列し、町長をはじめ来賓がその態度や装備を確認した後、ラッパ隊を先頭に分列行進を行いました。時折、吹雪となる悪天候ではありましたが、それらをものともしない爽快なラッパの音色が響き、団員の覇気を感じさせる勇壮な行進となりました。

無火災表彰

勇ましい分列行進

交通指導隊・防犯隊合同出動式

1月13日、沢内農業者トレーニングセンターで交通指導隊と防犯隊の合同出動式が行われました。

会場には交通指導隊と防犯隊の29人が参加。各隊は交通指導隊長の山鼻眞一さん（川舟）の指揮で出動式に臨みました。

式典では観閲点検が行われ、整列した隊員は、観閲官の町長から手帳や警笛などの装備品に異常がないか点検を受けました。

観閲点検の後、来賓の藤田健一北上警察署長が「気迫あふれる初点検を見せてもらった。西和賀町は犯罪も少なく、交通死亡事故は2年以上発生していない。これも皆さんを初め、関係団体や地域の皆さんの熱心の取り組みの成果。本年も県内の治安を取り巻く環境は厳しいと予想されるが、安全、安心を実感できる地域社会をつくっていくために協力をお願いする」と祝辞を述べ、隊員を激励。これを受けて防犯隊隊長の田中實（まこと）さん（貝沢）が「昨年も、交通指導隊は交通安全意識高揚を図る活動を積極的に行い、防犯隊も犯罪や非行のない明るい町づくりを目指して活動してきました。今年も安全で安心な町を目指し、隊員一人ひとりが強い信念を持って活動していきます」と話し、町の安全を守る者としての決意を表明しました。

点検で警笛を鳴らす防犯隊員のみなさん

町・県民税の申告と所得税の確定申告は 2月13日㈬～3月15日㈮

平成25年度（24年分）
町・県民税（国民健康保険税）等の申告が始まります

◎申告が必要な人
平成25年1月1日現在、西和賀町に住所を有する人（申告案内書と一緒に配布する資料に詳しく掲載しますので、そちらで確認してください）

◎申告が不要な人
・勤務先で年末調整を済ませた方で、その勤務先から役場に給与支払報告書が提出されており、その他に収入がない人（給与支払報告書の提出の有無は事業所へ確認してください）
・公的年金収入のみの人で、その他に収入がない人。
※なお、収入が全くなかった人についても、申告することにより国民健康保険税等が減額される場合がありますので、収入がなくても申告することをおすすめします。なお、商工会および農協を通じて確定申告をした人、もしくは電子申告等を利用して税務署へ直接確定申告書を提出した人は、町・県民税の申告書の提出は不要です。

◎申告案内書の送付について
・申告案内書は、世帯毎に行政区長を通じて1月25日に配布する予定です。この申告案内書には勤務先で年末調整が済んでいる人も掲載していますが、別表（9P上段）の申告手続き確認表で申告相談が必要かどうかを確認してください。また、税務署から確定申告書が届いた人で、町が実施する申告相談で確定申告する人は、必ず申告案内書とその申告書をご持参ください。
・町、県民税（国民健康保険税）申告書と所得税申告書（A表・B表）等が必要な場合は、税務会計課（湯田庁舎）または町民課（沢内庁舎）の窓口に備え付けています。

◎口座振替領収書を送付します
・固定資産税、国保税、軽自動車税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の口座振替領収書を送付しますので、確定申告に必要な人はご利用ください。

■申告相談日程と受付時間について
申告相談受付の対象地区割りが変更されている地区がありますので、日程表（9P下段）を確認のうえ、申告会場にお越しください。また、最終日の受付は3月15日正午で終了いたしますのでお早めに申告してください。

今月納めていただく税金と納期限

町県民税	4期
国民健康保険税	7期
介護保険料	7期
後期高齢者医療保険料	7期

※納期限及び口座振替日は1月31日㈭です。

◆問い合わせ先／税務会計課
課税・窓口グループ ☎82-3282
収納グループ ☎82-3283

申告の時に必要な書類等（申告会場へ行く前に書類等の確認を行いましょう。）

◆申告に必要な書類　（収入・経費の内容がわかる資料）　※事前に集計してください
1．町県民税の申告案内書（税務署から確定申告書が届いている人は一緒に持参してください）
2．印鑑（認印）、申告者名義の預金通帳と通帳印（事前に記帳してご来庁ください。また、数冊に渡るものはそのすべて）
3．給与所得者は源泉徴収票、年金受給者は年金の源泉徴収票のハガキなど、収入額の証明となるもの
4．農業、営業のある人は、必ず配付した「はじめよう収支計算書」に記入をし、申告に必要な書類（ＪＡ発行の精算書、助成金通知書、拠出金証明書や領収書など支払経費等を証明するもの）、営農関係で使用している預金通帳、固定資産税課税明細書（毎年５月に固定資産税納税通知書と一緒に送付しています）、肉用牛販売証明書など
5. 不動産などの譲渡所得がある人は、売買契約書、領収書、公共事業に伴う場合は買取りなどの証明書
6. 一時所得（生命保険満期返戻金など）がある人は、収入額の証明となるもの

※営農関係で取り引きしている預金通帳は、平成24年1月1日から12月31日までの記載があるもの全てをご持参ください。

◆控除に必要な書類　（控除の内容が分かる資料）
1．平成24年中に支払った国民健康保険税、国民年金保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、農業者年金保険料の領収書等。生命保険料、介護医療保険料、長期損害保険料、地震保険料の掛金控除証明書
2．申告者本人又は扶養親族の障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳。介護保険の要介護又は要支援の認定者は、障害者控除対象認定書（該当の有無は医療保険室（沢内庁舎　☎85－3414　にお問い合わせください）
3．住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）の該当者は、その関係書類（金融機関からの年末残高証明書など）（平成24年中に新築又は増改築し、その費用について金融機関からの借り入れがある人は、必要書類について税務会計課までお問い合せください。）
4．医療費控除を受ける人は、平成24年中に支払った領収書（平成24年の領収印のもの）を病院、薬局別に分け、さらに個人毎・月毎にまとめてください。なお、生命保険や、役場からの医療費の給付などで補てんされた場合は、実際に支払った医療費から差し引かれますので、その金額がわかる通帳や書類※健康保険組合発行の「医療費のお知らせ」は医療費控除の申告に使用できません
5．配偶者特別控除（配偶者の所得の合計額が38万円超76万円未満の者）を受ける人は、配偶者の収入額が分かるもの。
6．寄付金控除を受ける人は、都道府県・市区町村、住所地の都道府県協同募金会、住所地の日本赤十字社支部からの領収書、または、都道府県や市区町村が条例で指定した団体の領収書（条例指定した団体等については税務会計課へお問い合わせください）
7．その他、参考となる資料

申告手続き確認表

〈スタート〉

平成25年１月１日現在、西和賀町に住民登録している、もしくは住んでいる

- いない → 今年の１月１日現在、住民登録されている、もしくは住んでいた市区町村に申告してください。
- いる ↓

平成24年１月１日から12月31日までの１年間に収入があった

- ない → **収入が無い旨の申告をしてください。**申告をしないでいると、未申告者となり介護保険料や保育料などの算定に影響され、町の各サービスが受けられなくなることもあります。
- ある ↓ 収入がある方は①～④のうち該当する項目を進んでください

①年金をもらっている

- 年金のみの場合
  - 平成25年1月1日現在65歳以上で収入額が148万円以下である
  - 平成25年1月1日現在60歳以上65歳未満で収入額が98万円以下である
  - → **申告相談をする必要はありません**
- 年金以外の収入がある場合
  - 平成25年1月1日現在65歳以上で年額が148万円を超えている
  - 平成25年1月1日現在60歳以上65歳未満で年額が98万円を超えている
  - 年金を複数もらっている
  - 扶養や医療費等の控除を適用したい
  - 年金以外に収入がある
  - → 申告会場で申告相談をする必要があります

②給料・アルバイト料等をもらっている

- 給与のみの場合
  - 年末調整をし、それ以外に収入はない
  - → **申告相談をする必要はありません**
- 給与以外の収入がある場合
  - 年末調整をしていない
  - 年末調整をしたが、それ以外にも収入があった
  - ２箇所以上から給料をもらっている
  - ２箇所以上でアルバイトをした
  - → 申告会場で申告相談をする必要があります

③事業収入

- 農業収入がある
- 大工、商店等自営業収入がある
- → 申告会場で申告相談をする必要があります

④その他

- 医療費や住宅ローンの控除を適用したい
- 扶養等年末調整の内容を変更したい
- → 申告会場で申告相談をする必要があります

申告会場で申告相談をする必要があります
ただし、税務署へ直接申告書を提出する（した）人は、お越しいただく必要はありません。

◆町・県民税の申告相談受付日程◆

※７時３０分から各会場の待合室にて受付は可能ですが、申告相談は９時から開始になります。

※相談の地区割りは混雑緩和のため、目安として設けたものであり、全域対象日は混雑が予想されますので、対象地区のときに申告くださいますようご協力をお願いします。

月　日	対　象　行　政　区	会場と受付時間
２月13日（水）	湯田（湯田・穴明）	湯田庁舎　３階会議室 【午前】　９時～11時30分まで受付 【午後】　13時～16時まで受付 ※２月22日（湯田全域が対象）のみ受付時間が18時までとなります
２月14日（木）	湯田（清水ヶ野・間木野）・槻沢	
２月15日（金）	下前・左草	
２月18日（月）	湯本・湯之沢	
２月19日（火）	川尻一区・二区	
２月20日（水）	上野々区・湯川・柳沢	
２月21日（木）	小繋沢・耳取・草井沢・鷲之巣	
２月22日（金）	湯田全域※	
２月25日（月）	越中畑・野々宿・白木野	
２月26日（火）	大野・東大野	沢内庁舎 老人福祉センター１階　作業室 【午前】　９時～11時30分まで受付 【午後】　13時～16時まで受付 ※３月５日と３月12日（沢内全域が対象）のみ受付時間が18時までとなります 沢内庁舎での受付は３月13日が最終日となります。
２月27日（水）	新町	
２月28日（木）	鍵飯・前郷	
３月１日（金）	太田	
３月４日（月）	弁天・猿橋	
３月５日（火）	沢内全域※ （大野・東大野・新町・鍵飯・前郷・太田・弁天・猿橋）	
３月６日（水）	泉沢・長瀬野	
３月７日（木）	川舟（丸志田・小坂・安ヶ沢）	
３月８日（金）	川舟（高下・新山・川舟）	
３月11日（月）	若畑	
３月12日（火）	沢内全域※ （泉沢・長瀬野・川舟・若畑・貝沢・ほか）	
３月13日（水）	貝沢	
３月14日（木）	全地域	湯田庁舎　３階会議室
３月15日（金）	全地域※	湯田庁舎　３階会議室 ※最終日受付は正午で終了します。

「西和賀町空き家等の適正管理に関する条例」が制定されました

町内では、空き家が増えており、中には倒壊の危険のある空き家も見受けられます。管理が行き届いていない空き家が放置された結果、事故が発生し、他人に損害を与えた場合は、空き家の所有者が責任を負わなければなりません。

昨冬も雪下ろしのされない建物の雪により、歩行者が危険を感じたケースがあったことを踏まえ、空き家の所有者に適正な管理を促す「西和賀町空き家等の適正管理に関する条例」を平成25年1月1日から施行しました。

この条例は、住民の安全・安心の確保と生活環境の保全を目的としており、空き家の所有者に適正に管理する責務を定義するとともに、住民の皆様の協力を得ながら、所有者に適正な管理を促す基本的ルールを定めたものです。

空き家を所有するみなさんは、今後も適正な維持管理にご協力をおねがいします。

条例の主な内容と事務の流れ

①情報提供
どなたでも、空き家等の管理が不全な状態であると認める場合は、町へ情報提供ができます。

②実態調査及び立入調査等
町は情報提供を受けた場合、必要に応じて管理不全な状態の程度を調査することができます。

③助言または指導
町は、調査の結果空き家等が現に管理不全な状態にある、又は管理不全な状態になる恐れがあると認めたときは、所有者等に対し、助言又は指導を行うことができます。

④勧告
町は、助言又は指導を履行しない所有者等に対し、勧告することができます。

⑤命令
町は、所有者等が勧告に応じない場合、命令することができます。

⑥公表
町は、所有者等が命令に従わないときは、氏名等を公表するものとします。（ただし、特別の事情があると認められるときは公表を猶予することができます。）

※緊急を要する場合においては、関係機関と必要な措置について協議して対応します。

◆問い合わせ先／町民課　☎85－2111

平成25・26年度入札資格審査を始めます

町は、平成25・26年度の入札資格審査を次のように定め、受付を開始します。平成25・26年度に町が発注する建設工事、建設関連業務や物品購入などの入札に参加したい人は、必要な書類を期限内に提出してください。

●受付期間／2月1日㈮～28日㈭

●共通して必要な書類
①入札参加資格審査申請書（岩手県様式一式）
②印鑑証明書（写し可）
③使用印鑑届（原本）
④法人の場合は登記簿謄本、個人の場合は身分証明書の写しで可
⑤委任状（任意様式）
⑥委任先の事業所及び連絡先（任意様式）
⑦納税証明書
法人の場合は法人市町村民税と固定資産税、個人の場合は市町村民税、固定資産税と国民健康保険税。また、全業者とも課税対象事業者の場合には消費税及び地方消費税

●申請区分により必要な書類
〈建設工事〉
①経営規模等評価結果通知書総合評定値通知書（写し可）
②建設業許可証明（写し可）
③工事経歴書（県様式）
④技術職員名簿（県様式）
⑤浄化槽工事を希望する場合は浄化槽施工技術者調書（任意様式）（浄化槽設備士免状の写しでも可）
⑥舗装工事を希望する場合は舗装施工管理技術者調書（県様式）
〈建設関連業務〉
①営業に関し法律上必要な登録証明書（写し可）
②財務諸表
③測量等実績調書
④技術者経歴書
〈物品購入等〉
①営業に関し法律上必要な登録証明書（写し可）
②財務諸表

●提出部数と書類規格／1部、A4版ファイル綴じ（色指定なし）

●提出方法／持参、郵送どちらでも可

●その他／申請書の宛名は「西和賀町長　細井洋行」にしてください。また、資格者名簿の有効期間は平成25・26年度の2会計年度です。資格審査結果は通知しませんが、資格者名簿に登載できない場合には文書で通知します。詳細は西和賀町ホームページをご覧ください。
（http://www.town.nishiwaga.lg.jp/）

◆問合先・提出先／〒029－5512　岩手県和賀郡西和賀町川尻40－40－71　西和賀町役場総務課　☎82－3281

地域づくりの成果～小繋沢地区 活力とうるおいにあふれた「むらづくり」賞を受賞

▲受賞を喜ぶ中島委員長（中央）と高橋文子副委員長（左）

小繋沢地区で組織する「繋の郷づくり委員会」（中島達郎委員長）が中心となり取り組んできた地域づくりが認められ、いわて農林水産振興協議会（会長・達増拓也知事）会長表彰の活力とうるおいにあふれた「むらづくり」賞を受賞しました。

この賞は、農林水産業の振興を中心に、農山漁村に住む人々の創意と工夫によって、活力とうるおいあふれたむらづくりに取り組んでいる集落を区域とする組織等が表彰されたもので、12月18日に岩手県民会館で表彰式が行なわれました。

小繋沢地区では、高齢化や人口減少は続いているものの、全戸参加でみんなの意見が反映される地域づくりを図るため平成20年に「繋の郷づくり委員会」を発足させました。この委員会には、全戸が参加することとし、行事内容や場面に応じて年齢や性別を問わず、集落全員で参画できるように工夫されており、未利用農地に栽培の容易な大根やソバの生産を行なっています。各家庭で作られた野菜や漬け物などの即売会や大根の品評会などを行い、地域外へのPR活動も行っています。

また、地区の様々な取り組みや情報を発信する情報誌「まめでらが～」を発行し、地区民のほか、町外の集落出身者にも送付され、イベントへの参加案内や地元農産物・加工品の販売も積極的に行なっています。

中島委員長は「背伸びしてもなんともならない。地域のみんなができることをできることから始めた成果」と受賞を喜んでいました。

▲昨年12月のチャリティーショーに全戸で参加

地域発展の可能性を探る「西和賀町の明日を考えるシンポジウム」

町と町議会が主催する「西和賀町の明日を考えるシンポジウム」が１月11日、沢内バーデンで行われ行政区長や町民ら約90人が参加しました。

シンポジウムは、少子高齢化や過疎化による人口減少、産業の低迷が続く中、地域を持続発展させるために課題の把握と解決策を考え、新たな方策を見い出すことを目的に行われました。

町や町議会からの事例発表のほか、早稲田大学教育・総合科学学術院教授の宮口侗廸（としみち）さんの特別講演、「西和賀町における地域活性化の突破口は何か」をテーマに宮口さんと細井町長の対談も行なわれ、町の将来について考える有意義なシンポジウムとなりました。

▲対談する宮口教授（左）と細井町長

ほっとゆだ駅周辺スケッチコンテスト

最優秀賞は星さん（北上市）ＪＲ北上駅長賞に豊村さん（川尻）

昨年４月から６月に開催されたいわてデスティネーションキャンペーンに併せて行なった「ほっとゆだ駅周辺スケッチコンテスト」の審査の結果、最優秀賞には北上市の星良隆さん、優秀賞には北上市の中野光雄さんがそれぞれ受賞しました。また、ＪＲ北上駅長賞に豊村真知さん（湯田小学校３年・川尻）が選ばれました。

▲ＪＲ北上駅長賞を受賞した豊村さん

それぞれの水彩画は写実的で、ほのぼのとした画風であり、１月末から２月いっぱい、湯夢プラザのホールに展示しております。

◆問い合わせ先　観光商工課　☎82-3290

スポーツ結果

（丸数字は順位。敬称略 総務課調べ）

◆第62回岩手県中学校スキー大会
（1月11～14日・八幡平市）※８位以内入賞者・チーム
＜クロスカントリー＞
▼男子5kmクラシカル
④石川元太郎（沢内中3年）15分28秒3
⑦前島風太（沢内中3年）15分43秒9
▼男子5kmフリー
④前島風太　15分06秒1
⑥佐々木康明（沢内中2年）15分39秒5
▼女子3kmフリー⑧田中風花（沢内中2年）8分53秒9
以上の選手は全国大会、東北大会出場
▼男子リレー
②沢内中学校〔前島風太、石川元太郎、高橋和也（3年）、佐々木康明〕1時間0分36秒　**東北大会出場**
▼女子リレー
④沢内中学校〔佐藤美姫（2年）、田中風花、佐々木優夏（2年）〕27分50秒8
＜総合＞
▼男子②沢内中36点

◆第62回岩手県高等学校スキー大会
（1月11～14日・八幡平市）※８位以内入賞者・チーム
＜アルペン＞タイムは1本目、2本目の合計
▼男子大回転
③刈田雄平（黒沢尻工業高3年・槻沢）1分59秒71
全国大会、東北大会出場
▼男子回転
⑧刈田雄平　1分29秒65　**東北大会出場**
＜クロスカントリー＞
▼女子5kmクラシカル
⑤佐々木しおり（盛岡南高1年・前郷）18分26秒3
▼女子10kmフリー　**東北大会出場**
⑤佐々木しおり　37分3秒1

◆平成24年度スキー競技国体選手選考会
（1月19～20日・八幡平市）※８位以内入賞者
＜アルペン＞
▼少年男子大回転
①刈田雄平（黒沢尻工業高3年）1分4秒11　**国体出場**
＜クロスカントリー＞
▼少年女子5kmクラシカル
⑥佐々木しおり（盛岡南高1年）17分34秒7

◆第65回岩手県民スキー大会競技会
（1月19～20日・八幡平市）※８位以内入賞者
＜アルペン＞
▼成年男子C（35～40歳）
⑦菊池啓志（越中畑）1分8秒57⑧梅川洋（川尻）1分09秒13
▼成年男子D（41～45歳）
①高橋北斗（間木野）54秒47⑧竹沢勝美（新町）59秒77
▼成年男子H（61～65歳）
③菅原義美（野々宿）1分00秒92④山本幸男（川尻）1分01秒27
▼成年男子I（66～70歳）
①梅川良一（川尻）1分01秒10③高橋幸治（湯本）1分04秒10
▼成年女E（51歳以上）⑤藤田陽子（川尻）1分09秒46
＜クロスカントリー＞
▼成年男子G5kmクラシカル⑧藤原利雄（湯本）23分33秒2
▼男子リレー⑥西和賀町　1時間18分10秒
▼女子リレー②西和賀町　36分04秒5
＜総合＞
▼男女総合②西和賀町120点

◆第７回西和賀老連会長杯・西和賀GB会長杯忘年会大会
（12月21日・志賀来ドーム）
①太田（米沢静夫、深沢弥右衛門、照井国雄、赤石アイ）
②前郷（内記健一、内記正志、内記陽子、高橋キセ、佐々木昭三）
③鍵飯（高橋幸一、高橋淑子、有馬礎、柿澤一男、柿澤典生）
④槻沢⑤川尻⑥新町⑦川舟⑧猿橋

◆第81回志賀来ドーム愛好会新年ゲートボール大会
（1月11日、志賀来ドーム）
⑤猿橋⑦新町⑨前郷⑩槻沢
※県内外から11チームが出場。町内チームの成績

◆第13回町長杯小学校雪合戦大会～湯田レイダースが３位
１月13日、旧川尻小学校特設会場で西和賀町雪合戦協会が主催する第13回西和賀町長杯小学生雪合戦大会が行われました。大会には、町内から２チームのほか、宮城県や北上市、紫波町などからあわせて16チームで熱戦が繰り広げられました。
本町からは湯田レイダーズ、湯田スノーバスターズ（いずれも湯田小学校）のチームが出場し、いずれも決勝トーナメントに進みました。　競技の結果、宮城県から参戦のなるせＧウィングスが優勝、湯田レイダースは３位に、湯田スノーバスターズはベスト８に入る健闘を見せてくれました。

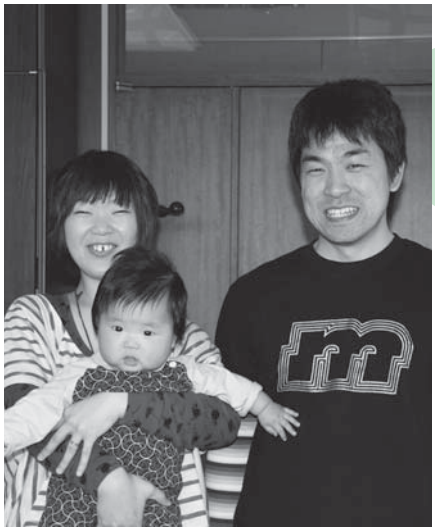
①なるせＧウィングス（宮城県加美町）
②スノーキノピンズ（北上市）
③湯田レイダース、野球鬼'sYANAGI（北上市）

一瞬の隙を逃さず攻撃をする湯田レイダースの選手たち

たくましく育て町の宝・成長の証に

スイートベイビー健やかに⑦

町は、赤ちゃんの誕生を祝い、健やかな成長を祈念して足形や名前、生年月日などをガラスに彫り込んだ写真立てを贈っています。
贈呈した2人の赤ちゃんを紹介します。（平成25年1月25日現在・カッコ内は父母と地区）


髙橋穂成（ほはる）ちゃん
（真樹さん・佳奈子さん／湯田）

髙橋清祥（せいしょう）ちゃん
（高行さん・和子さん／野々宿）

スイートベイビー（記念品贈呈）について申請方法など詳しくはお問い合わせください
◆問い合わせ先　総務課　☎82－3281

クリスマスを生演奏で飾る

湯本、川尻保育園で山の音楽隊

曲に合わせてみんなでダンス（川尻保育園）

山の音楽隊（加藤信彦会長・新町）は12月25日、湯本、川尻両保育園でクリスマスコンサートを行ないました。

この日は、会員９人がトランペットやフルート、ドラムなどの楽器を持ち込み、生演奏で「赤鼻のトナカイ」や「ジングルベル」などクリスマスにちなんだ６曲を披露しました。このうち川尻保育園では、曲にあわせて踊ったり、アンコールがでるなど生演奏を楽しみました。また、湯本保育園の高橋恵子園長は「生演奏を聞くのはほとんどが初めてで、小さい子ども達は泣く子もいるかと思ったが、リズムに合わせるなど楽しんでいてよかった」と話していました。

姿勢を正して「新春書初め会」

沢内地区教育振興会が主催

沢内地区教育振興会（高橋定雄会長・川舟）では、今年から新たな取り組みとして「新春書初め会」を行ないました。

書初め会は１月１日から３日の間で小中学生を対象に教育振興会の各実践班ごとに行われ、指導は各地区民が行ないました。

新町公民館（泉隆雄館長）では１月３日、志賀来実践班新町地区の書初め会が行われ、参加した小中学生14人がそれぞれの課題を集中して書き上げていました。

完成した作品は、審査を行い金賞、銀賞などの各賞を選んだ後、沢内小学校に展示され一般にも公開されました。

背筋を伸ばし集中して書き上げました

大雪をものともせずに本領発揮

スノーバスターズ出動

今シーズンの活動か開始されました（大野地区）

沢内農業者トレーニングセンターで１月13日、西和賀町スノーバスターズの出動式が行われました。

ボランティアなど150人あまりが参加した出動式では、会長の深澤賢雄さん（猿橋）が「安全、安心で事故のない活動を」とあいさつ。また、参加者を代表して、西和賀高校２年の米澤美鈴さん（太田）が「地域で困っている人のこの地域で住み続けたいという願いを叶えるために、不安を取り除き、支えとなって活動していきます」と誓いの言葉を述べました。出動式後、スノーバスターズはそれぞれの班に別れ、さっそく各地区での活動を始めました。

女性の感性をさらに輝かせる

きらめく女性のつどい

西和賀町きらめく女性連絡会が主催するきらめく女性のつどいが１月20日、沢内バーデンで行われ女性団体構成員など約120人が参加して行なわれました。

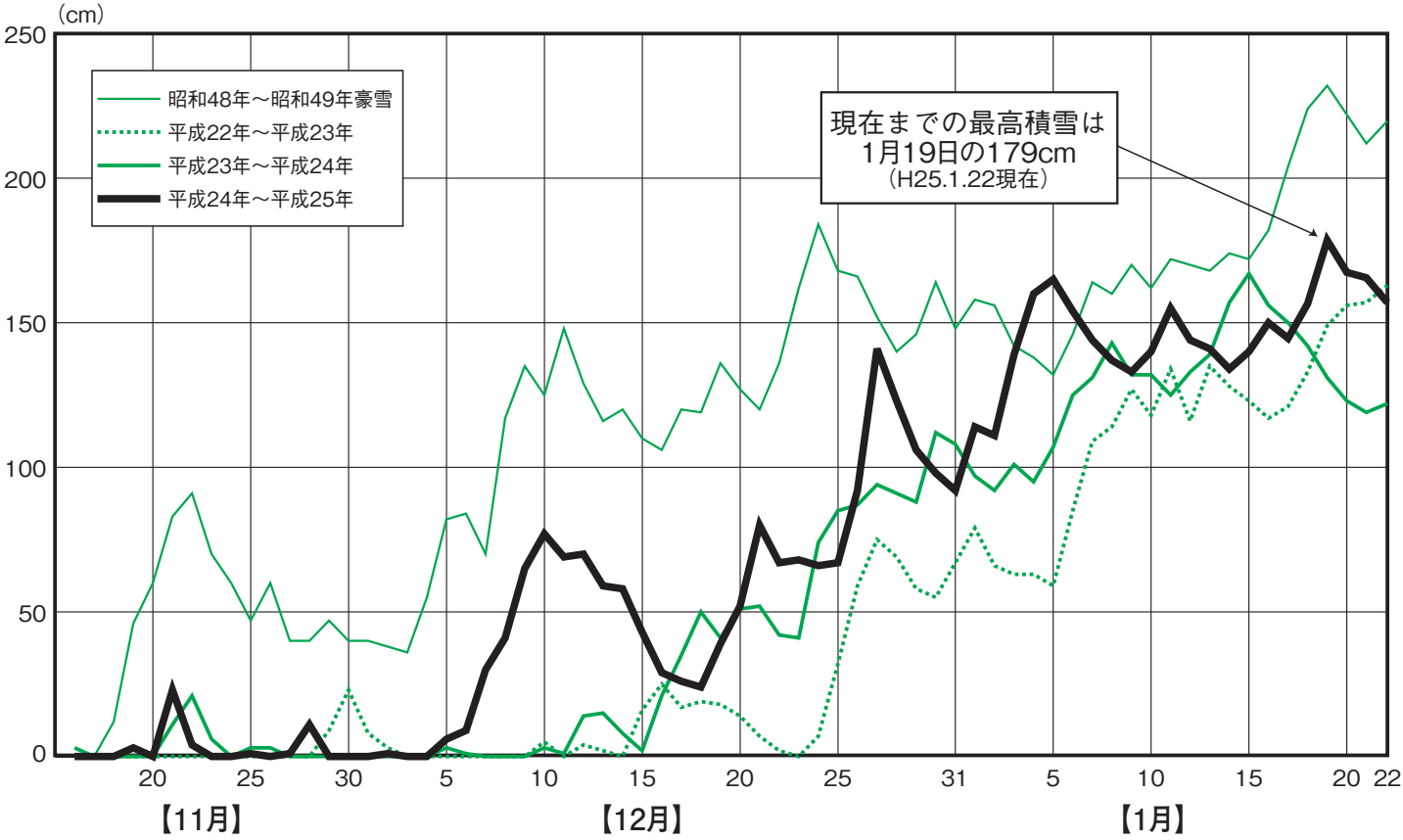
開会行事に続き、町６次産業振興センターの高橋直幸さん、高橋千賀子さんが講師となり「西和賀町の６次産業の取り組みについて」と題した学習会が行なわれたほか、「ふれあいゲーム」で日頃の疲れを癒しリフレッシュしました。

このつどいは、町内の女性５団体で組織するきらめく女性連絡会が、それぞれの組織の活動を活かしながら、女性の感性をさらに輝かせるために心一つに集い、町の新時代を創造する原動力となるために行なわれて今年で７回目になります。

熱心に耳を傾ける参加者

積雪調査結果

西和賀町では、町内１か所（川尻地内）で独自に積雪量を観測しています。場所は湯田庁舎付近です。調査結果は独自のものなので、テレビ報道や新聞報道とは数値が違う場合があります。　問合先／総務課　☎82-3281



明るい町づくりに寄与 防犯灯が寄贈されました

12月26日、北上地区電気工事協同組合青年部（八重樫賢治部長）から、発光ダイオード（ＬＥＤ）防犯灯４基が町に寄贈されました。防犯灯の寄贈は、同青年部創立20周年の記念事業として、ふるさとへの恩返しの気持ちを込めて行なわれたもので、本町と北上市に寄贈されています。

防犯灯は、沢内地区、湯田地区それぞれ２ヶ所に設置されることになっています。

▲八重樫部長（右から２人目）から細井町長へ目録が手渡されました

よき年の始まりに 北上職業訓練協会から 門松寄贈

▲大きな門松の前で。髙橋副会長（右）と髙橋智副町長

12月26日、北上職業訓練協会の髙橋勇喜副会長が湯田庁舎を訪れ、正月飾りとしておなじみの門松１対が寄贈されました。

寄贈された門松は、同協会が運営する北上高等職業訓練校の造園科の訓練生が作ったもので、太い竹や松の枝、梅などが見事に飾りつけられ、大人の背丈ほどもある大きな門松です。寄贈された門松は、湯田庁舎正面玄関に１月７日まで飾られました。

公営住宅入居者募集

町は、次により若者定住促進住宅１戸の入居者を募集します。入居を希望する人は、２月８日㈮までに、町民課または税務会計課（課税窓口グループ）へ申し込んでください。入居は３月上旬の予定です。

住宅名	若者定住促進住宅湯田団地
住宅規模	２ＤＫ（木造２階建）　付帯施設（車庫）
募集戸数	１戸
入居資格	単身者である人 町内に住所を有する人（入居時に住所を有することとなる人を含む） 入居申込み時において、年齢が満40歳未満である人
家賃	28,000円（月額）
敷金	家賃の３月分

○募集期間／２月８日㈮
○申 込 先／町民課（沢内庁舎）
　　または税務会計課（湯田庁舎）
○問 合 先／町民課　☎85-2111

町職員の異動

町は1月1日付けで人事異動を行いました。

【主任級】
▽北島　幸子（生涯学習課主任→学務課主任）
▽刈田真理子（農業委員会主任→生涯学習課主任）

「いくから、おいでよ。」
全国の学生・若者たちとまた出会える、2年目の冬。

銀河ホール学生演劇祭2013

銀河ホール学生演劇祭2013。今年は「ドキドキぼーいず」（京都造形芸術大学ほか）、「演劇活性化団体uni」（日大芸術学部ほか）、「HOME」（東北芸術工科大学ほか）の３団体の若手劇団・学生演劇団体が西和賀に集まります。この３団体が一週間の滞在制作を経て、２月17日㈰に銀河ホールで上演します。上演後には公開ミーティングも行われます。演劇の町・西和賀で大いに語り合いましょう。

▶上演会場／銀河ホール
▶上演日時／２月17日㈰　12時30分開場／13時00分開演
　【滞在期間：２月10日㈰～18日㈪】
▶入場料／500円（中学生以下無料）

『同時開催』湯田温泉峡風呂美術大学2013

全国の美大生たちの手によって「旅館のお風呂」を「入浴するアート」に変えてしまおうという温泉旅館と美大生による協働プロジェクトです。「どこにもない美術と湯の里との出会い」をぜひ堪能ください。

▶開催期間／２月16日㈯・17日㈰
　【滞在期間：２月15日㈮～18日㈪】

◆問い合わせ先／湯田温泉峡旅館組合　☎81-1135
　　銀河ホール　☎82-3240

おたより紹介

「どんと祭」

湯田地区恒例の新春行事「どんと祭」が１月14日、午前９時から湯田神社でおよそ30人が集まって行なわれました。

この行事は、湯田小学校湯田地区父母の会と子ども達がひらいたもので、朝７時すぎ各戸から集めた正月用のしめ飾りや古いお札などを神社境内に持ち寄り、神事のあと点火しました。集まった子ども達は頬を赤くしながら手を合わせ、今年の無病息災と学力向上を祈願していました。

高橋　成治さん（湯田）

教育委員に深澤武志さん再任

12月定例議会で、任期満了となる教育委員に深澤武志さん（太田）が再任されました。任期は平成25年１月１日から28年12月31日までとなります。

細井町長からの辞令を受け取る深澤さん

また、12月の教育委員会議で教育委員長に再任されました。教育委員長の任期は。平成25年１月１日から平成25年12月31日までとなります。

広報12月号の訂正

広報12月号12Ｐ記事内で深澤武志教育委員長の任期を12月１日から来年11月30日と掲載しましたが、深澤武志さんの教育委員の任期が12月31日で満了になったことから来年11月30日との表記は誤りでした。お詫びして訂正いたします。

（誤）12月１日から来年11月30日
（正）12月１日から12月31日

広報12月号15Ｐ写真スケッチで撮影日を誤って掲載していました。お詫びして訂正いたします。

（誤）11月11日
（正）12月11日

役場から

家屋調査書を送付します

固定資産課税台帳の登録家屋が、実際の家屋の床面積や所在地等と相違が多く見受けられることから、平成25年度から複数年にわたり順次現地にて確認調査をすることとなりました。それに先立ちまして、調査の参考とさせていただくため所有者の皆様に、登録状況についての回答調査書を送付いたしますので、ご協力くださいますようお願いいたします。回答期限は平成25年3月29日㈮です。

●**問合先**／税務会計課　家屋調査室
☎㈱3299

申告で控除を受ける人へ 必要書類を発行します

医療保険室では、所得税や町・県民税の申告をする際、次の控除を受ける際に必要な書類を発行します。それぞれの書類が必要な人は、3月15日㈮（確定申告期間内）までに医療保険室（沢内庁舎）へ申請してください。

【障害者控除対象者認定書の発行】

納税者本人、控除対象配偶者、扶養親族のうち次に該当する人がいる場合は、障害者控除を受けられる場合があります。

【対象】障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を持っていないが、介護保険による要介護認定を受けており、ある一定の基準を満たす方（※）、又は次のいずれかに該当する65歳以上の人

①知的障がい者（軽度から重度）に準じる人
②身体障がい者（1～6級）に準じる人
③6ヶ月以上「寝たきり」の状態になっている人

※要介護認定を受けているすべての人が対象となるとは限りません。また、介護認定は平成24年12月31日現在の状況によります。

【おむつ代の医療費控除確認書】

次の条件をすべて満たす人は、医師が発行する「おむつ使用証明書」の代わりに、町が発行する「確認書」を医療費控除の添付資料として提出することができます。

①おむつ代についての医療費控除を受けるのが2回目以上になる
②平成23年中に介護保険の要介護認定を受けている
③介護認定審査会資料に使用された主治医意見書により、寝たきり状態で尿失禁の可能性があると認められる

※おむつ代の確認書が必要な人は印鑑が必要になりますのでご持参ください。

●**問合先**／医療保険室☎㈱3414

「はたちの献血」キャンペーン

1月1日から2月28日までは「はたちの献血」キャンペーン実施期間です。献血者が減少しがちなこの季節、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として、幅広い世代の皆さんにご協力をお願いします。献血は、県内を回る献血バスまたは最寄りの献血ルームで行っています。

●**問合先**／町民課☎㈱2111

ふるさと就職支援事業の申請はお済みですか

町は「若年者ふるさと就職支援事業」として、町内に住所を有する若年者（満15歳以上25歳未満、震災で罹災された人の場合は40歳未満）が新たに町内事業所に就職した場合に、定住費用の一部と事業主が支払う賃金などの経費に対し、若年者には12ヶ月間、雇用した事業主には6ヶ月間交付金を助成しています。今年度の請求は3月末までですので、該当すると思われる人は早めに申請・請求してください。

●**問合先**／観光商工課☎㈱3290

「北上線で行く横手かまくら号」参加者募集

岩手・秋田県際交流事業実行委員会では、北上線を利用した「横手かまくらツアー」への参加者を募集しています。

●**期日**／2月16日㈯
●**行程**／行き＝ほっとゆだ駅16時45分発～横手駅17時25分着「かまくら見学」帰り＝横手駅20時03分発～ほっとゆだ駅20時36分着
●**対象者**／町内居住者、町内勤務者
●**料金**／500円（小学生は半額、座席の必要のない乳幼児は無料）
●**定員**／10人
●**申込期限**／2月7日㈭
●**その他**／悪天候の場合はツアーを中止になることもあります
●**申込先・問合先**／政策推進室
☎㈱3284

国や県から

確定申告書作成会場のお知らせ

花巻税務署では、次のとおり確定申告書作成会場を開設します。

●**会場**／まなび学園（旧花巻南高校）
●**開設期間**／2月1日㈮～3月15日㈮
※土日祝日を除く
●**開設時間**／9時～16時

【確定申告書作成コーナー】

国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp/）には、画面の案内に従って金額などを入力すると、税額などが自動計算されて申告書などを作成できる「確定申告書作成コーナー」があります。自宅などから電子申告ができる「e-Tax」用のデータを作成することもできますので、ぜひご利用ください。

●**問合先**／花巻税務署
☎0198-23-3341

相続登記に関する講座開催

盛岡地方法務局花巻支局では、相続・登記に関する講座を次のとおり行います。

●**テーマ**／「よくわかる相続と登記」
●**日時**／2月19日㈫13時30分～15時
●**場所**／盛岡地方法務局花巻支局（花巻市不動町一丁目1番地1）
●**内容**／相続の基礎知識、相続登記の手続きについて
●**定員**／36人
●**申込・問合先**／盛岡地方法務局花巻支局☎0198-24-8311

西和賀むらづくりフォーラム

北上地方農林業振興協議会では、平成24年度西和賀むらづくりフォーラムを次のとおり行います。

西和賀産大豆を使った料理コンクールや各地区に伝わる納豆汁の試食会、パネルディスカッション、風呂敷市などを行ないます。

●**日時**／2月12日㈫ 10時30分～15時30分
●**場所**／銀河ホール
●**参加申込期限**／2月5日㈫
●**申込・問合先**／西和賀普及サブセンター ☎㈱3125

公的年金等の源泉徴収票の送付

平成24年中に厚生年金保険、国民年金等の老齢または退職を支給事由とする年金を受け取られた皆さんに、平成24年分として支払われた年金の金額や源泉徴収された所得税額等をお知らせする「平成24年分公的年金等の源泉徴収票」を日本年金機構からお送りしています。

●**問合先**／日本年金機構 ☎0570-05-1165（ナビダイヤル）

その他

新農業人フェアinきたかみ

岩手県農業公社では、新規学卒者やUターン者、新規参入者など新たに農業を始めようとするみなさんに、研修方法や資金制度など就業情報や担い手確保や育成をするための相談会を行ないます。

●**日時**／2月2日㈯11時～15時
●**内容**／新たに農業を始めるために情報提供や個別相談など
●**場所**／北上市生涯学習センター（おでんせプラザぐろーぶ3階）
●対象／新規就農・Uターン・農業技術研修や農業体験・農業や農村に興味のある人、農業参入を希望している企業など
●**参加料**／無料（自由に参加できます）
●**問合先**／公益社団法人 岩手県農業公社☎019-623-9390

にしわが愛児会（湯本保育園・川尻保育園）職員募集

にしわが愛児会では、次のとおり職員採用を行ないます。

●**採用予定人員**／3人
●**試験内容**／作文、面接
●**条件**／①保育士資格を有している女性で（本年3月31日までに資格を取得する見込みを含む）昭和48年4月2日以降に生まれた人②西和賀町に居住している人
●**申込方法**／申込用紙に必要書類を添えてにしわが愛児会（湯本保育園）に提出してください
●**受付期間**／1月27日㈰から2月10日㈰18時
●**試験日**／2月16日㈯
●**試験会場**／西和賀町役場湯田庁舎
●**合格発表**／2月25日㈪
●**問合先**／西和賀町湯本30－61にしわが愛児会（湯本保育園）☎㈱2510

戸籍の窓

（敬称略） 12月16日～1月15日受付分

※掲載を希望しないこともできます。届け出の際にお申し付けください。

ご誕生おめでとうございます

丸山優太（ゆうた）（男） 雄大 湯田
丸山陽太（ひなた）（男） 雄大 湯田

お悔やみ申し上げます

髙橋ヨネ	(83歳)	12月16日	川舟
菊池敏夫	(78歳)	12月20日	越中畑
加藤ミトリ	(86歳)	12月22日	新町
佐々木井子	(71歳)	12月24日	川舟
藤村國子	(91歳)	12月24日	穴明
久保光子	(73歳)	1月5日	泉沢
有馬忠夫	(83歳)	1月7日	新町
北舘重左エ門	(80歳)	1月7日	上野々
淀川英次	(78歳)	1月8日	大沓
髙橋敦子	(83歳)	1月8日	間木野
猿橋カツ	(86歳)	1月10日	猿橋

住民の動き（12月分）

項目	実数	前月との比較
転入	4	± 0
転出	9	＋ 3
出生	1	± 0
死亡	12	－ 3
人口	6,569	－16
男	3,075	－ 8
女	3,494	－ 8
世帯数	2,435	－ 5

交通事故の状況（12月分）

区分	物損	人身	負傷	死亡	飲酒
実数	31	1	0	0	0
累計	(163)	(4)	(0)	(0)	(1)

（ ）は1月からの累計

火災・救急の状況（12月分）

■火災

区分	火災出場件数
件数	0件（2件）

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	0件（15件）	12件（146件）	13件（145件）	25件（306件）
搬送人員	0人（13人）	9人（123人）	12人（141人）	21人（277人）

（ ）は1月からの累計

保育所 保育園 紹介

みんなげんきにハイポーズ

今月から町内の保育所・保育園の様子を紹介していきます。
今月は川舟保育所を紹介します。
（年長3人、年中4人、年少2人、未満児7人）

毎日、大家族のように過ごしています。昨年１２月のお楽しみ会では、桃太郎のお話を土台にした創作劇を全園児で発表しました。水戸黄門の登場があったりとまさかのストーリーに大いに客席が喜んでくれました。とにかく元気いっぱいの「かわふねっこ」たちです。

にしわが再発見

「人間再発見」

新年あけましておめでとうございます。

年末年始の大雪は、今年も多く雪を降らせるから覚悟しろと言いたげな雪の降り方でした。昨年12月定例会で「空き屋等の適正管理に関する条例」を議決いただきました。本来自分の財産は自己責任「公けの秩序」により、他人に迷惑を掛けないように管理すべきである。純粋に人間として、こんな条例を制定したことに断固抗議の声はないだろうか。人間よ「甘え、依存心」は、いい加減にしろ。今日も降り続く雪が呟いている。

（広報編集長　高橋　智）

広報編集員委員が町内を駆け回り、「にしわが」の今をお伝えします。

編集後記

１月１４日成人の日、全国各地での大雪には驚きました。都会では交通機関がまひし、なんと全国高校サッカーの決勝戦も延期に。いくら雪に慣れているからといって本町の雪もたくさんなくらいになりました。除雪時の事故が多く発生しています。体と相談し、無理なく安全に行ないたいものです。本年もよろしくお願いします。

広報担当　東　清彦

広報 にしわが
■発行日／平成25年1月25日（毎月25日発行）
■編集・発行／〒029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71 西和賀町役場総務課 電話0197-82-2111 FAX0197-82-3111
■発行人／細井洋行　■編集人／高橋　智　■印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
VEGETABLE OIL INK